

UXデザイン演習

録音と加工

本日の予定

本日の予定

1. 概要説明
2. コンテンツの検討、録音
3. 手順説明、音加工
4. 提出

↶

<

2

>





アプリに音を載せる



コンテンツの検討

コンテンツの検討

- 写真ギャラリーアプリ
- (音を考えるために)テーマを決める
- テーマは何でも良い(作品集、好きなもの、ペット、大学風景...)
- 写真を3枚以上用いる

錄音

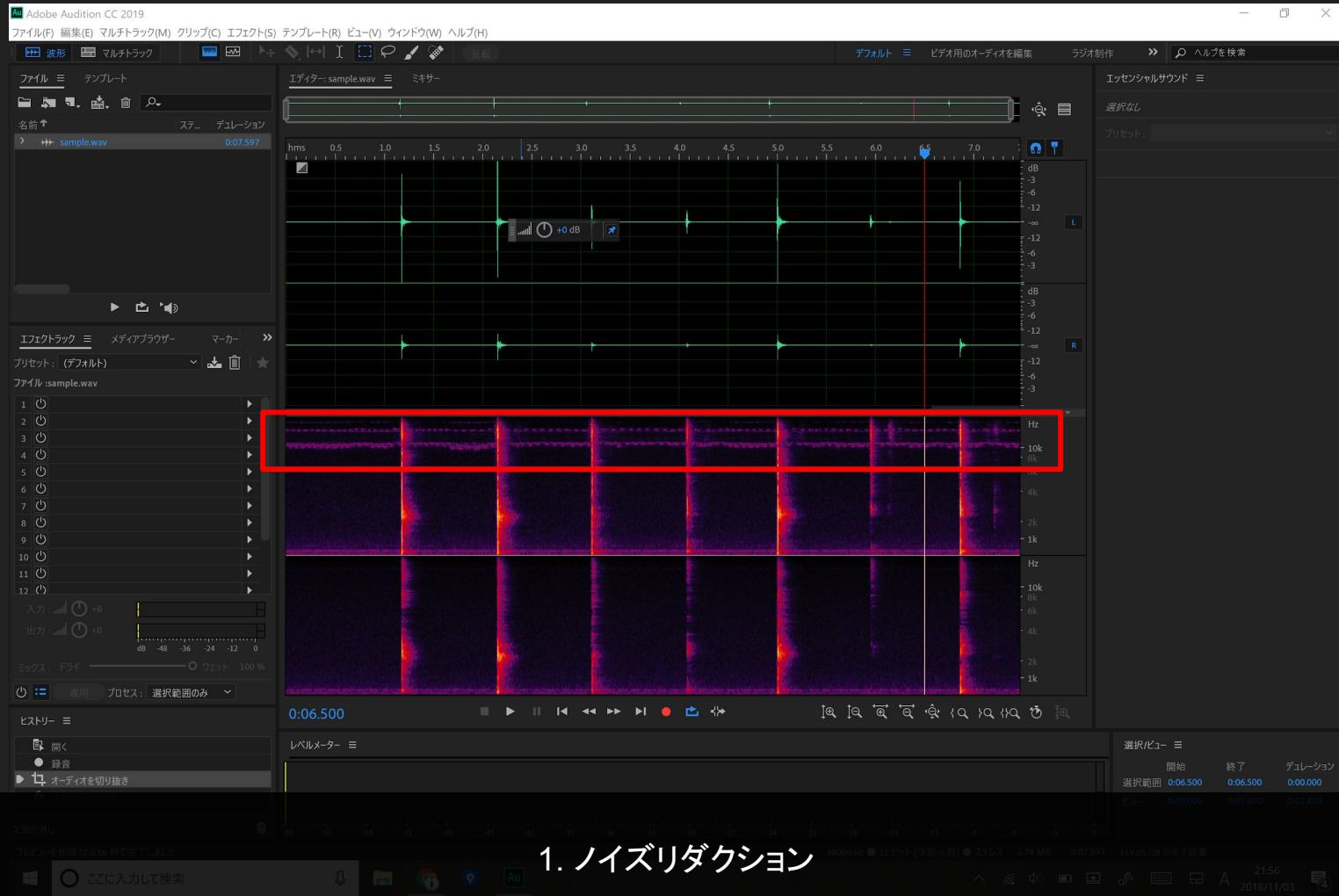
録音

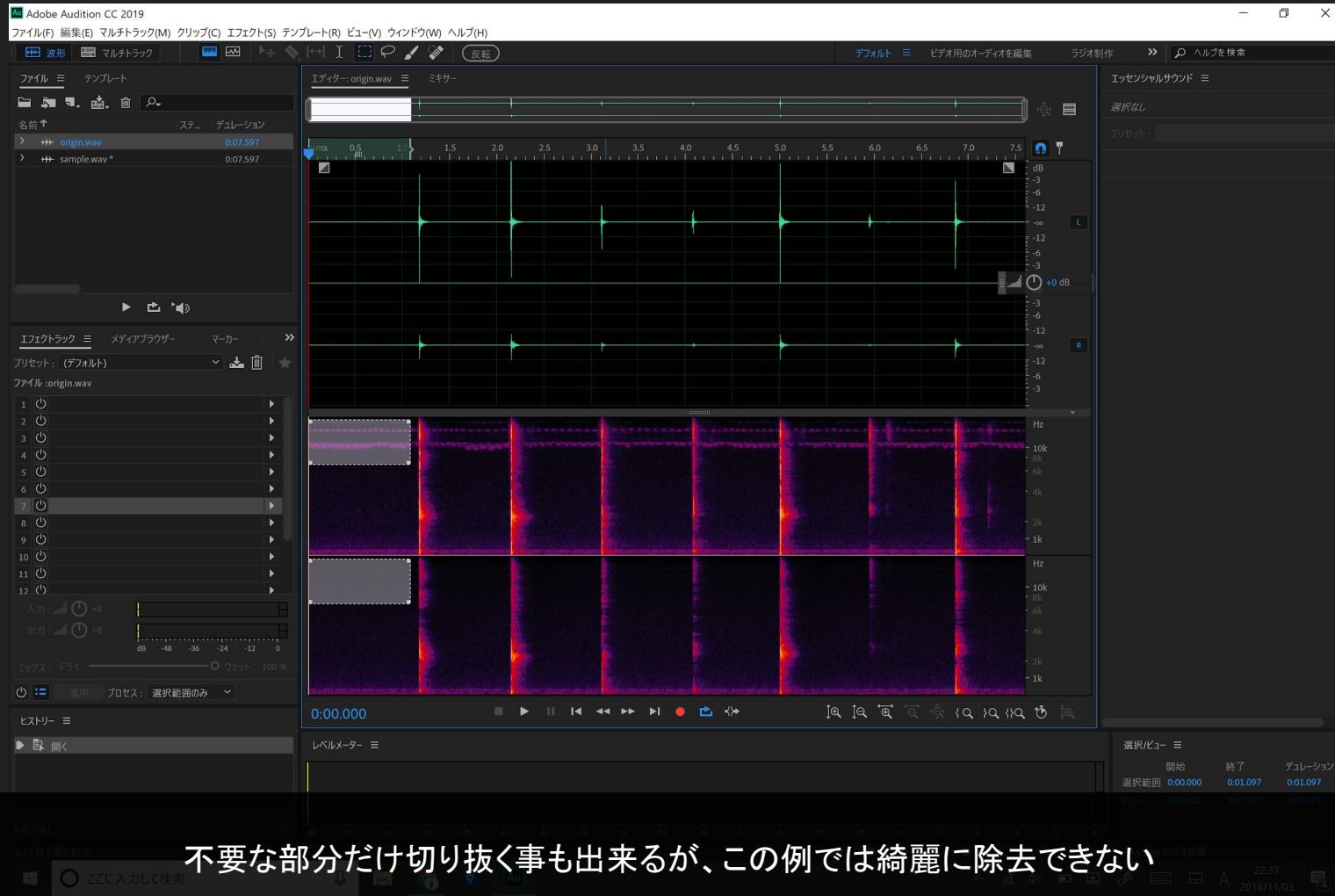
- 学内のどこでも録音可能
- 同じ音があってもOK/ 全く違う音の組み合わせでもOK
- アプリで使える音は4種類
 - 画像選択
 - 画像選択画面へ戻る
 - 次へ
 - 前へ

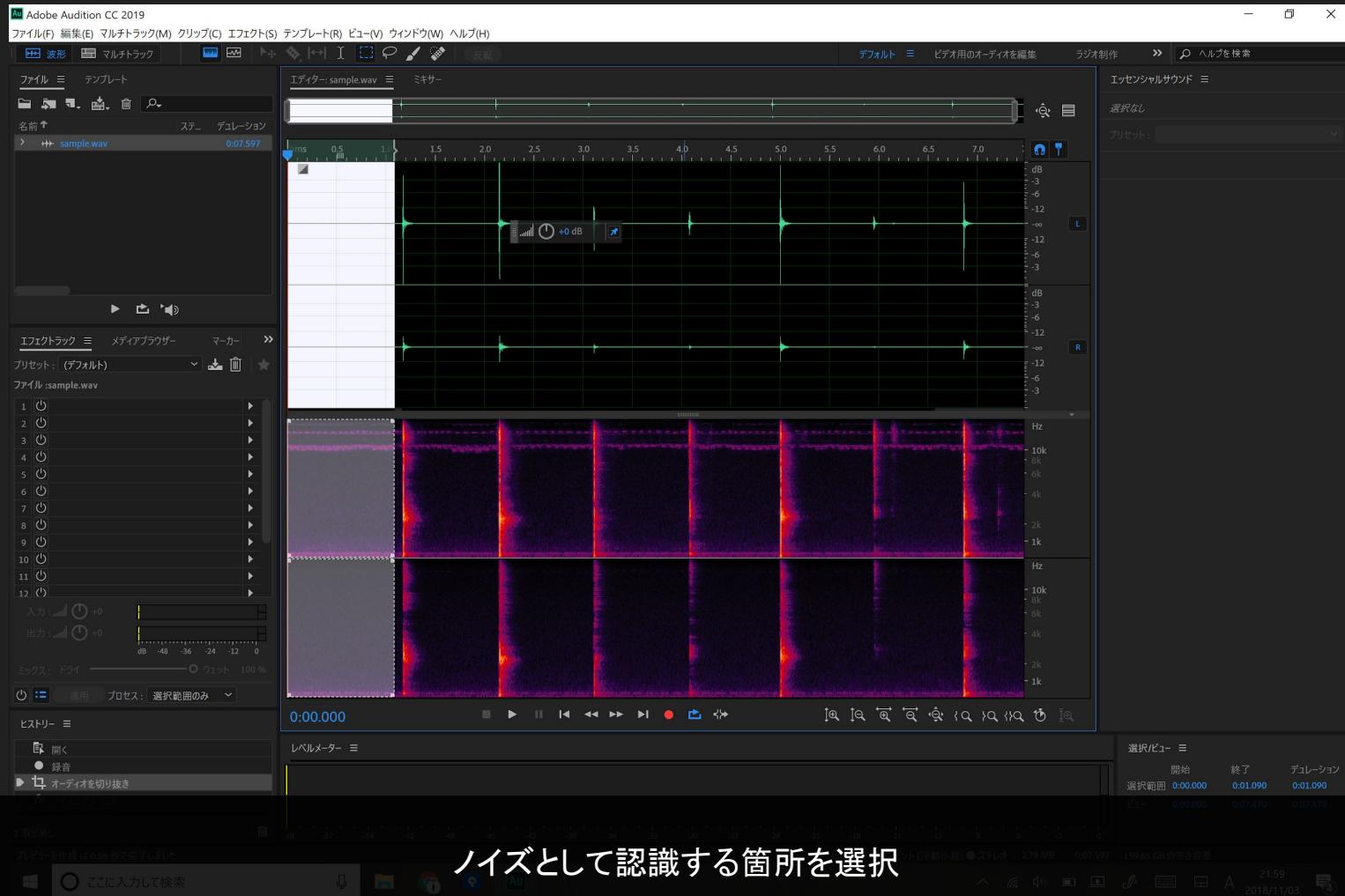
Adobe Auditionでの加工

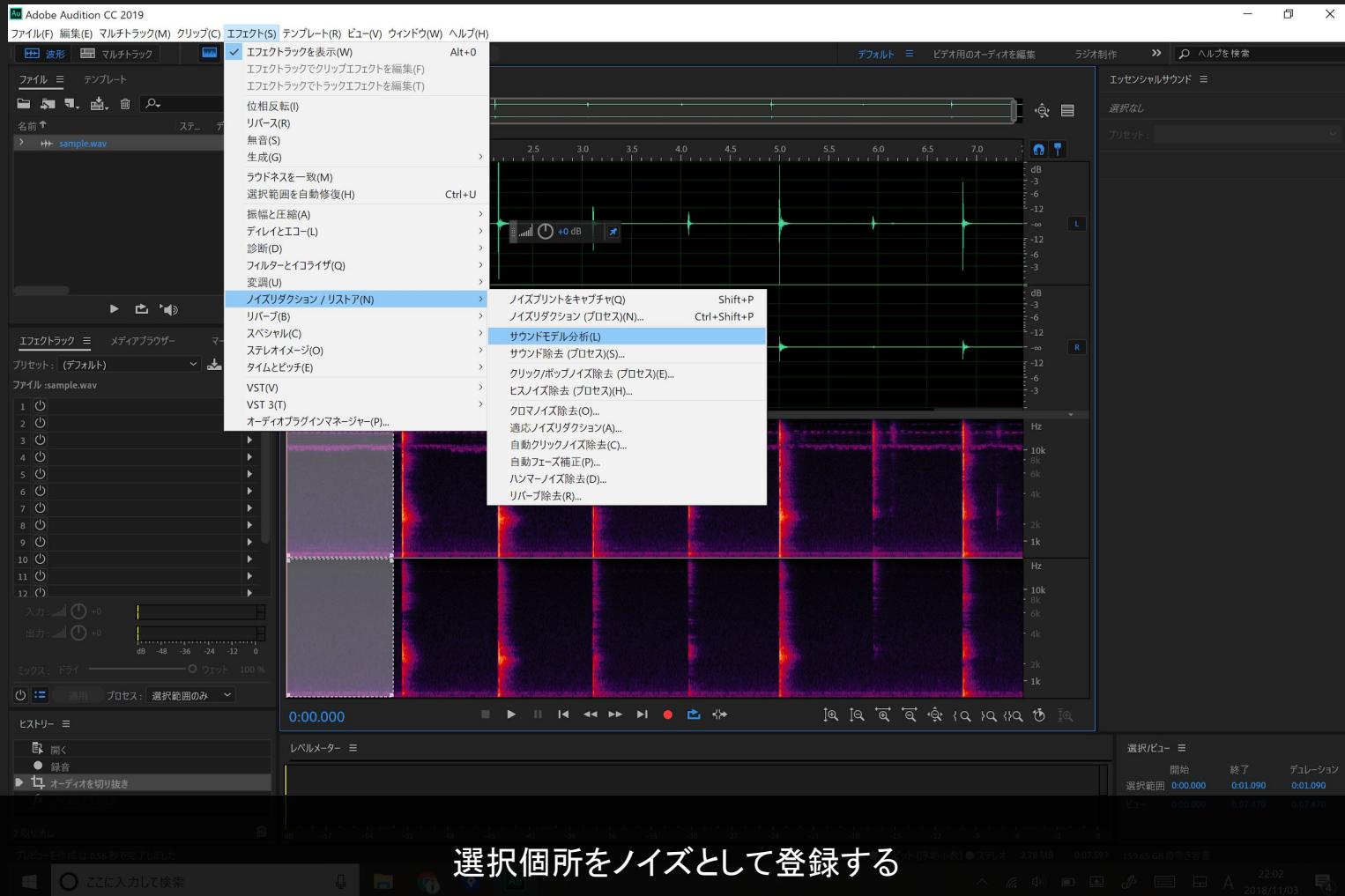
Adobe Auditionでの加工

1. ノイズリダクション
2. 必要な箇所を切り出し
3. フェードイン / アウト処理 (必要であれば)
4. 音量の調整 (必要であれば)
5. 書き出し

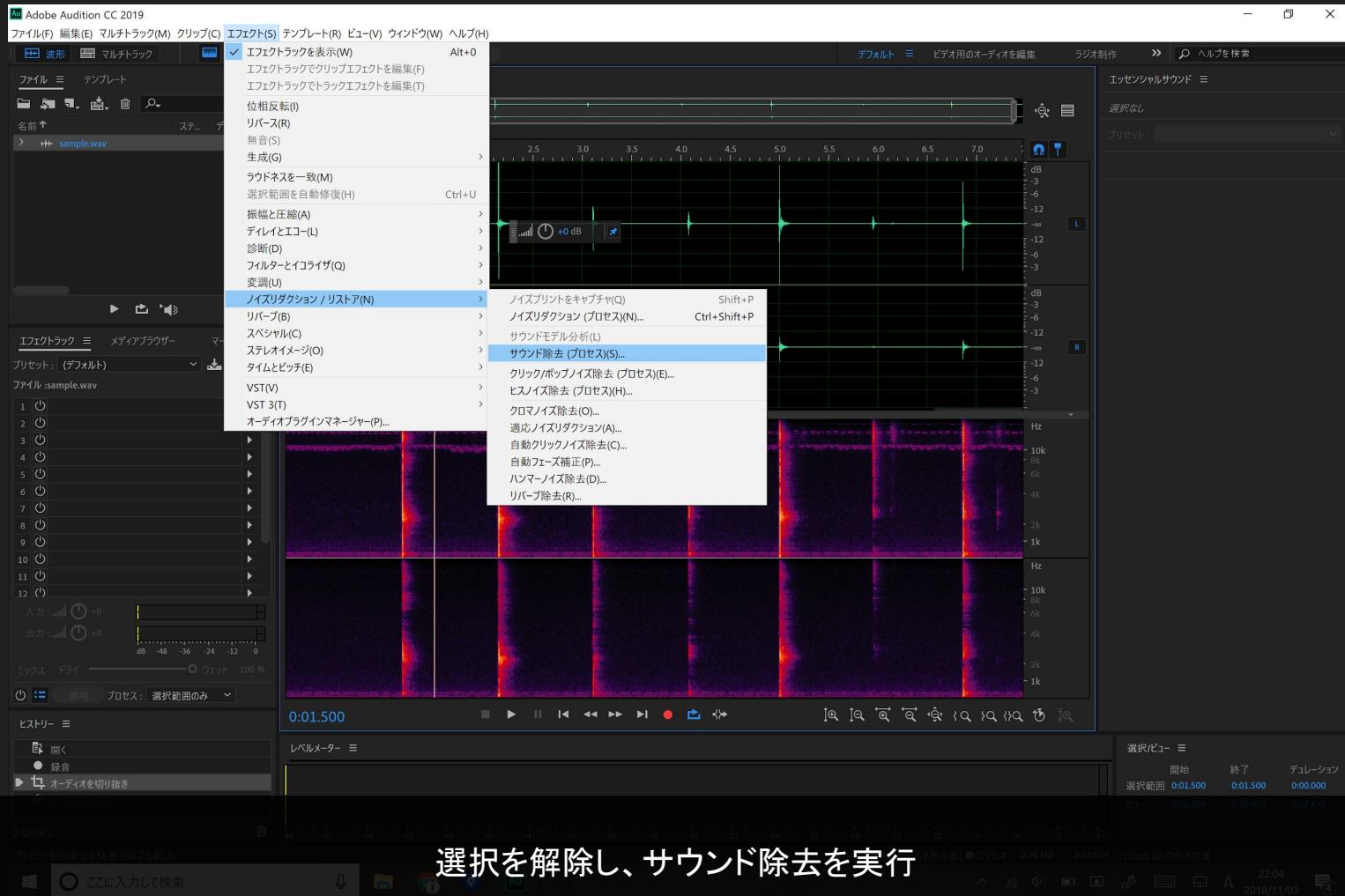








選択個所をノイズとして登録する



Adobe Audition CC 2019

ファイル(F) 編集(E) マルチトラック(M) クリップ(C) エフェクト(S) テンプレート(R) ピュー(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

波形 マルチトラック ミキサー フォルト ビデオ用のオーディオを編集 ラジオ制作 ヘルプを検索

ファイル テンプレート

名前 sample.wav 0:07.597

エディター sample.wav ミキサー

時間軸 (hms) 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0

エフェクト サウンド除去

プリセット: (カスタム) サウンドモデルについて サウンドモデル: 現在設定されているサウンドモデル

サウンドモデルの複雑度: 16

サウンドのバスを調整: 40

拡張抑制

強さ: 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

コンテンツの複雑度: 31

コンテンツのバスを調整: 40

スピーチ用に拡張 FFT サイズ: 4096 適用 閉じる

エフェクトトラック メディアブラウザ マーカー

プロジェクト: (デフォルト)

ファイル: sample.wav

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

入力: +0 dB 出力: +0 dB

ミックス: ドライ ウェット 100%

適用 プロセス: 選択範囲のみ

ヒストリー

録音 オーディオを切り抜き

再生中 2取り消し

ここに入力して検索

レベルメーター

選択/ピュー 開始 0:06.080 終了 0:06.080 デュレーション 0:00.000

選択範囲 0:00.004 0:07.474 0:07.480

22.06 2018/11/03

サウンドを聞きながら、除去具合を調整できる

The screenshot shows the Audacity interface with a context menu open over the waveform track. The menu items are:

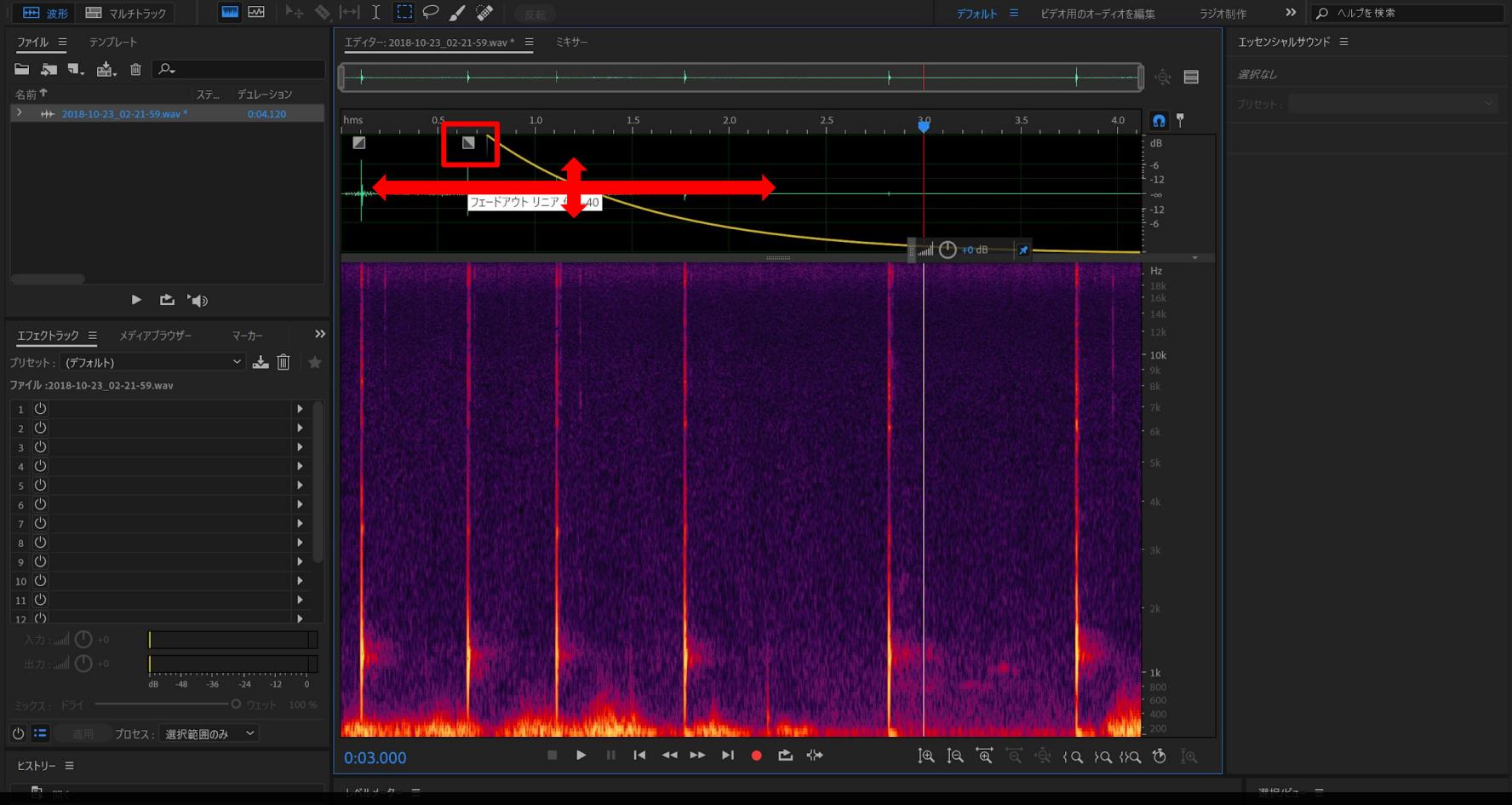
- すべてを選択
- すべてを選択解除
- ビュー範囲を時間選択
- 選択範囲を反転
- 選択範囲を別名で保存...
- マルチトラックに挿入
- ファイル全体を CD レイアウトに挿入
- ノイズプリントをキャプチャ
- サウンドモデル分析
- 現在のクリップボードを設定
- カット
- コピーアクション
- 新規ファイルにコピー
- ミックスペースト...
- 削除
- 切り抜き
- 点滅
- 選択範囲を自動修復
- マーカー
- サンプルタイプを変換...
- 各チャンネルをモノラルファイルに抽出
- 周波数バンドスリッター...

Red boxes highlight the "新規ファイルにコピー" (Copy to New File) and "切り抜き" (Cut) options. The "切り抜き" option is currently selected, indicated by a blue background.

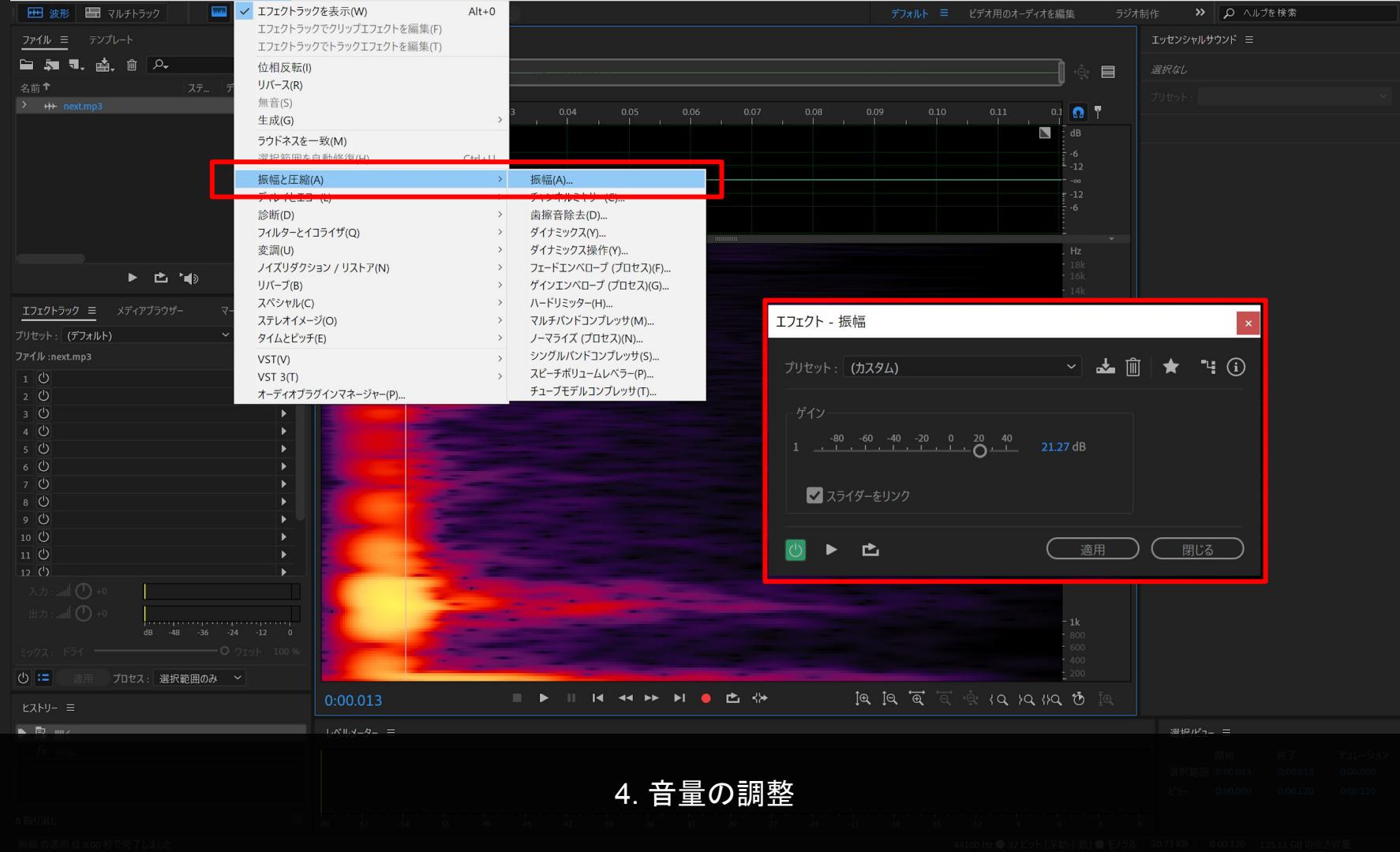
At the bottom of the interface, there is a table showing the selection range:

開始	終了	デュレーション
選択範囲	0:08.000	0:12.888
全体	0:00.000	0:22.186
		0:22.186 129.99 GB の空き容量

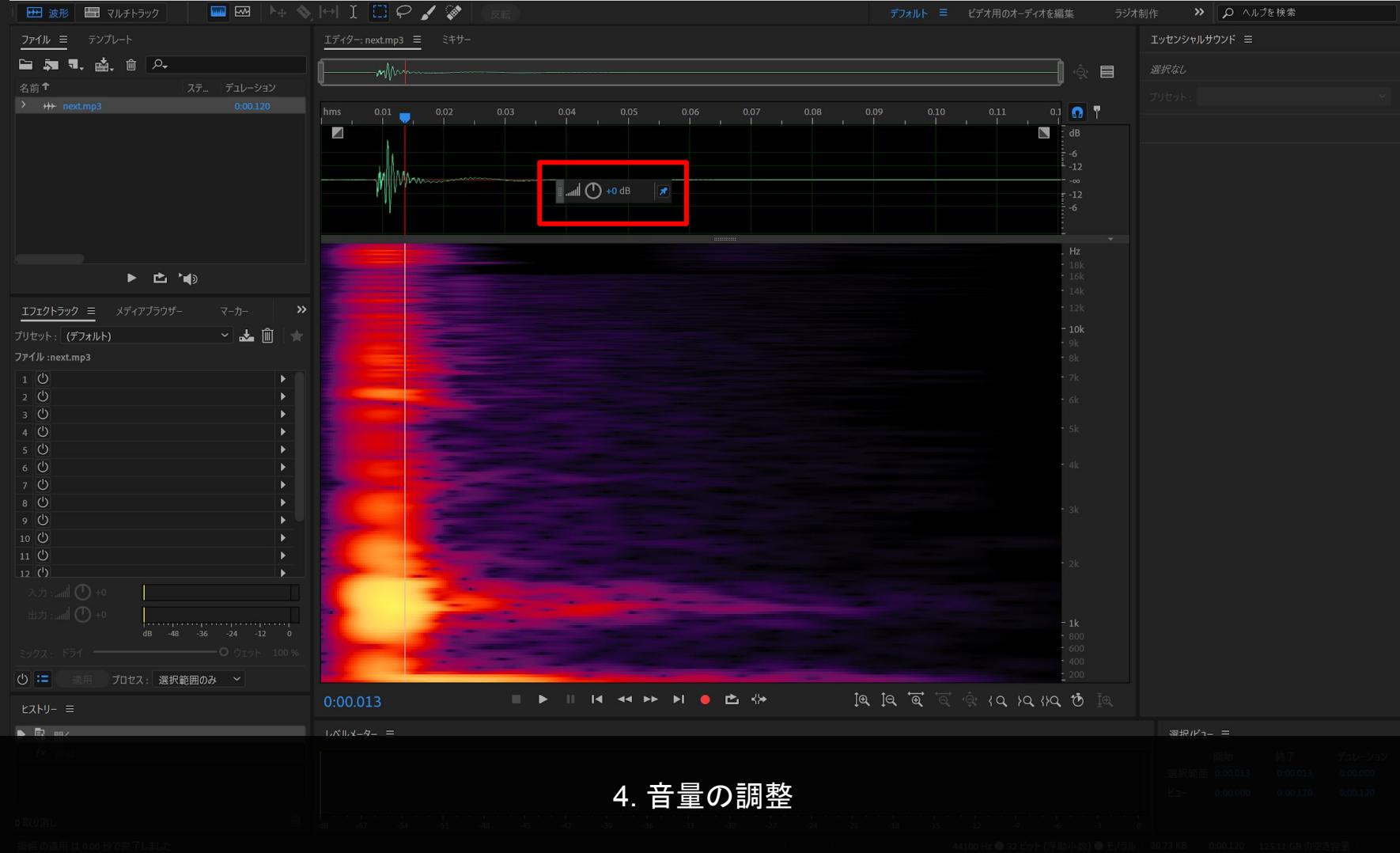
2. 必要な箇所の切り抜き



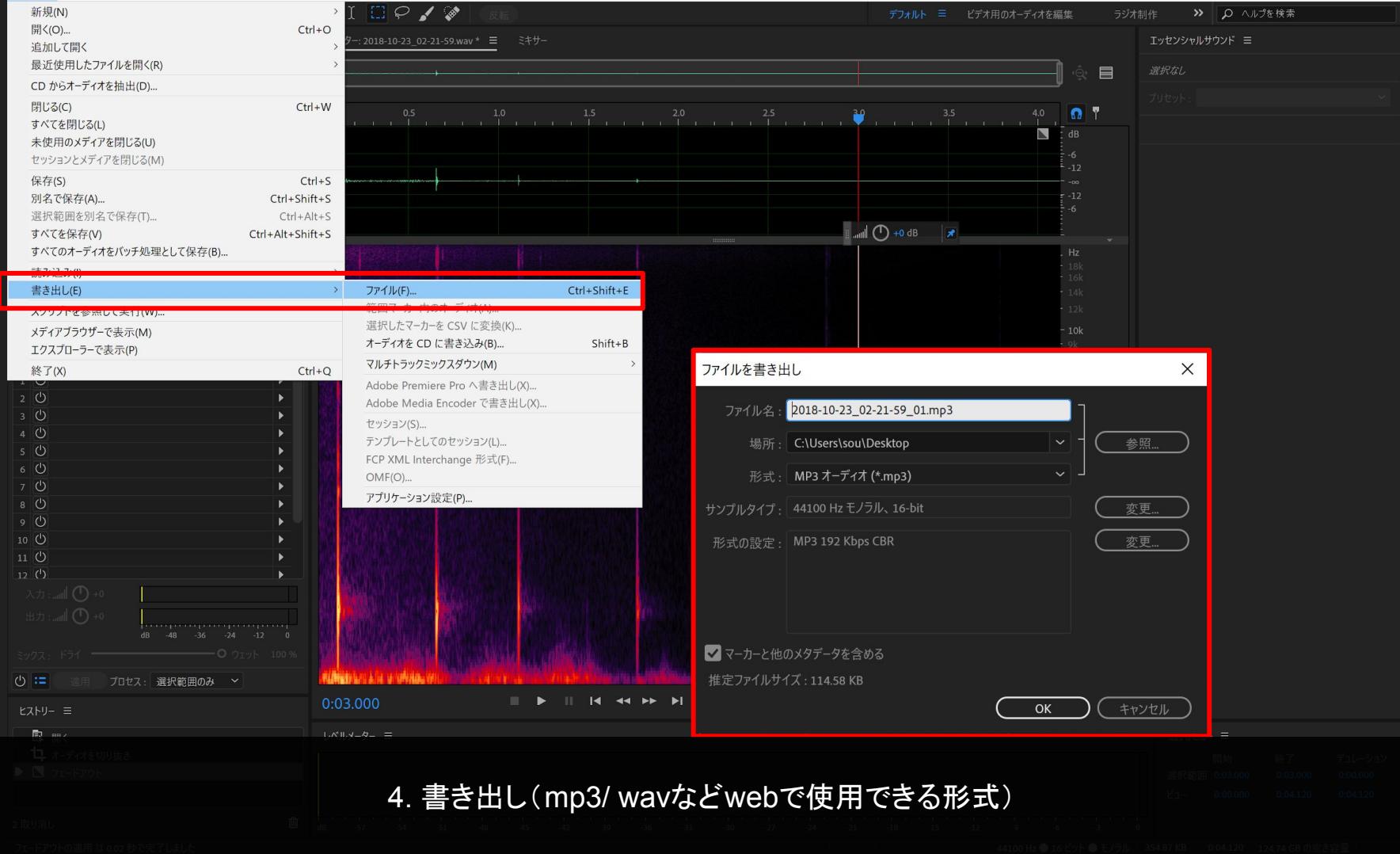
3. フェードイン / アウト処理



4. 音量の調整



4. 音量の調整



4. 書き出し(mp3/ wavなどwebで使用できる形式)

提出物

- 音ファイル4つ/ 画像ファイル3枚以上
 - 画像選択 – go.wav
 - 画像選択画面へ戻る – return.wav
 - 次へ – next.wav
 - 前へ – prev.wav
- フォルダにまとめる(フォルダ名に学生番号/名前を含めてください)
- 「kbt の MacBook Air」に AirDrop してください